

宮崎ロータリークラブ週報

no.46 | 発行 | 2023年6月27日 | 担当 | 長友 岳夫・赤石 裕一郎



2022-2023 Theme



■ 前回の例会記録

第3385回 2023年6月20日(火)

【会長・副会長・幹事退任挨拶】

- 川崎 建作 会長
- 小倉 和彦 副会長
- 河東 太浩 幹事

出席状況報告

会員数(名誉会員2名を除く)	100名
例会出席会員数	73名
同上出席率	73.74%

■ 今回の例会予定

第3386回 2023年6月27日(火)

【夜間例会】

年度末懇親会

シーガイアコンベンションセンター
2F ファウンテン

■ 次回の例会予定

第3387回 2023年7月4日(火)

【就任挨拶】

- 会長 岡本 俊則 会員
- ガバナー 池ノ上 克 ガバナー
- 副会長 藪田 潤子 会員
- 幹事 藪田 有美 会員

■ 幹事報告

- ・週報の件
- ・6/27夜間例会の件
- ・6月27日(火)19時～ 夜間例会
シーガイアコンベンションセンター2F ファウンテン
- ・この後お二人の方の入会式を行います。

■ 新会員入会式



東京海上日動火災保険株式会社
太田垣 大将 会員



明治安田生命保険相互会社
山本 修司 会員



Happy Box
平嶋 孝次 会員

宮崎観光ホテル平嶋でございます。
いつもご利用いただき感謝申し上げます。
本日の私の「Happy」は、**新テナント店舗のOPEN**のお知らせです。
休店しておりました、東館1階ラウンジに、本日より「Café & Bar ひまわり」がOPEN致しました。
ご縁があり、ベルエポック(株)宮田社長様による運営です。
特に、朝9時からのCafé・ティータイムに加え、夜21時までの「Barラウンジ」としてお楽しみ頂けます。
こだわりのラテ・旬の期間限定商品や、**夜のクラフトビール・おつまみ**、系列の「麦屋」監修の「カクテル」等お楽しみいただきたい新店舗です。
皆さまのご利用をお待ち申し上げます。

■ 会長の時間



川崎 建作 会長

皆さんこんにちは。いよいよ来週のシーガイアでの最終夜間例会を残すのみとなり、観光ホテルでの会長の挨拶をするのも本日が最後となりました。1年間私の稚拙なスピーチに付き合ってくださいありがとうございました。

先週、国際報道という番組をみていて、会長の時間時間のいいネタを見つけたと思ったらもう手遅れなんですね。どういうネタかという、アメリカでは「アフーマティブアクション」積極的差別是正処置の廃止が検討されようとして、国を二分する大問題となっているという事です。これは中野会長の時、会長の時間の時に話されましたが、アメリカでは有名私立大学アイビーリーグをはじめ2500もの大学が、人種是正のために1965年頃から、取り入れた制度です。2400点満点の入試試験の際に白人は加点なし、学力の劣る黒人に230点、ヒスパニック系に185点のいわゆる下駄を履かせ、逆に、比較的優秀と言われているアジア人から50点を引くということです。それで、これを不服としたアジア系の学生が不平等だと訴えているのです。今月中には連邦裁判の結果が出ると言われていますが、結果が気になるところです。

後でまた会長退任の挨拶をいたしますので、会長の時間はこれで終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

■ 会長退任挨拶



川崎 建作 会長

宮崎ロータリークラブ会員の皆様、1年間にわたり、ご支援ご協力をいただきありがとうございました。お陰様で無事に会長職を退任することになりました。ロータリーに関して浅学非才の私を暖かく受け入れていただきました皆様には厚く御礼申し上げます。「宮崎ロータリークラブは、一生懸命やれば皆が助けられるから」と多くの先輩に言われ、その言葉が救いで第70代会長という大役をこなしていけました。思えば2015～16年の古賀会長の時に副会長を

仰せつかりましたが、そのときに2年後の会長をやってくれないかと打診がありました。当時はまだわたしは20人程度の入院施設があり、母も入院中でとても引き受けできる状態でなかったのでお断わりしました。その時は諸事情を理解された中野先生がすぐに引き受けてくださって事なきを得ました。数年後、中野先生に言われたのは、「早く会長をしないと、大変な目にあいますよ」という意味深な言葉でした。その時は何のことか理解できませんでしたが、その後だんだん理解できるようになってきました。70周年の時の会長にさせられるんだと…。それから会長の話になると逃げまくっていました。その後入院もやめて、母もなくなったのに、逃げまくっている自分があまりにも情けなくなり、山田先生からのご指名を受けすることとなりました。内田五郎先輩には自分はスピーチが下手なので会長の時間にもすごく不安を感じていると相談したところ「大丈夫、お前の会長挨拶なんて誰も聴いてないから心配するな、それとみんな昼食の後で眠くなるから長話はするな」という微妙な激励をいただきました。藤元一生パスト会長に、実はロータリーことがよくわかってないと相談すると、幹事は河東会員にするから何にもしなくてじっと神輿に座っていればいいと、これまた微妙な激励をいただきました。本当に河東幹事には1年間お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。それに河東幹事を支えてくれた黒木隼人・長友剛両副幹事にもお礼もうしあげます。今年度を振り返ってみますと、会長に就任した7月にはすでに11月の宮崎RC創立70周年に向けて内田五郎実行委員長をはじめ全会員が動き出しておりました。藤元副実行委員長の下、実行委員会の皆様には70周年記念式典・祝賀会を成功裏に収めていただいて感謝申し上げます。祝賀会では開会の時にOB会の皆さんにステージに上がっていただき乾杯の挨拶を東京OB会の大石さんにやっていただきました。すると、祝賀会の最中にスポンサークラブの神戸ロータリークラブの会長が挨拶に見え、宮崎クラブのOB会というのは素晴らしい、ぜひ神戸クラブでも作りたいとお褒めの言葉をいただきました。70周年記念式典の中で、宮崎クラブ伝統の職業奉仕賞の授与式も執り行われました。60回目の本年度も宮崎県の観光業界のために長年にわたり奉仕されてきた青島グランドホテルの大女将の富森久子様が受賞されました。担当の吉本晤郎職業奉仕委員長、推薦者の藪田由美会員にはご苦勞を頂きありがとうございました。70周年も無事終わり、約3年間にわた



るコロナ禍もようやく終息の兆しが見え始め、例会を一度も休会にすることもなく済みそうです。今年になり3月4日には社会奉仕事業の一環として宮交ボタニックガーデン内にジャカランダの植栽を行いました。その際には朽木社会奉仕委員長・吉田会員にはお世話になりありがとうございました。その後、4月2日に高鍋で行われたインターシティミーティングに出席し、アンコンシャス・バイアスなる言葉と概念を知りました。4月4日には県防災庁舎での職場訪問例会も終え、私の会長としての公式行事はほぼ無事に終了したのではないかと考えております。本来ならば各委員長様、会員の皆様にもお礼の挨拶をしないとイケないと思うんですが、それは来週の最終例会にいたします。いよいよ、池ノ上ガバナー年度が始まります。岡本次年度会長とともに、全会員一丸となって盛り上げて行きましょう。最後に、例会場の設営、食事の準備等、いろいろお世話になりました。宮崎観光ホテルのスタッフみなさま、1年間本当にありがとうございました。

■ 副会長退任挨拶



小倉 和彦 副会長

昨年末、川崎会長から当職を承った当初は大変気が重かったのですが、その重責から解放され退任挨拶原稿を作成しようとする今、後ろ髪を引かれるような一抹の寂しさを覚えるのは川崎会長や加東幹事は元より、私ばかりではないものと確信をしています。(笑)

冗談はさておき、川崎年度のメインイベントであった「宮崎RC70周年記念式典」が皆様のご協力やご支援の下盛大に開催され、成功裏にフィナーレを迎えられた事にこの場をお借りしまして、改めて御礼を申し上げます。

また今年度のスタッフ会議等は当然の事乍ら、地区協議会及び親睦委員会に毎回参加させて頂いた上、博多や東京OB会等にも出席して、宮崎RC活動の素晴らしさを再認識して見識を大いに深め、新たな出会いと更なる発見や体験等をすることが出来ました。

正に「馬には乗ってみよ。人には添うてみよ」の古諺通りであり、私にこのような気付きと職責の場を与えて頂きました川崎会長に対して、今更な

がらではありますが衷心より深謝申し上げねばなりません。

さて副会長としてこの1年を振り返るとき「真摯にベストを尽くしたか?」、「もっと尽力すべき事はなかったか?」等々自問自答すれば正に忸怩たる思いに駆られ、反省する事しきりですが、それらの課題は今後私のRC人生の中で解答を導き出して行く事になろうかと心得ます。

結びに、誠に拙く頼りない副会長を支えて頂きましたスタッフや会員諸兄に、深甚なる敬意と感謝を捧げると共に、次年度を担う池ノ上ガバナーエレクト及び岡本会長エレクトに心からのエールを贈り、副会長退任のご挨拶と致します。皆様本当に有り難うございました。

■ 幹事退任挨拶



河東 太浩 幹事

幹事就任する2年前にある先輩ロータリアンから、川崎先生が会長に就任されるときには、君が幹事を努めなさいと、まるで刷り込まれるように繰り返し繰り返し、聞かされておりましたお陰で、十分にその覚悟と準備をして臨むことが出来ましたといいたところですが、やはり会の運営を進めていく中で、判断に迷うことや、色々な事が抜けており、皆様方には物足りなさやご迷惑をお掛けした一年間だったと思っております。

就任前、川崎会長とよく話しておりましたが、「俺たちの時にはコロナの休みはないよね」と、別にその休みが欲しかったわけではありませんが、プレッシャーを感じながら本年度を迎えました。

本年度を迎える前に歴代の5代幹事の先輩方から「幹事とは」をご教示戴き、また、坂下会長年度の際に、坂下P会長、内村P幹事からご指導いただいたことなどを糧に、心の準備を整え、前年度の4月に第1回目のスタッフ会議を実施し致しました。そこから我々スタッフにとっての70周年目の宮崎ロータリクラブのスタートとなりました。今月の最終スタッフ会議までの合計14回のスタッフ会議を実施いたしました。

本年度に突入致しまして、第1回目の例会は7月5日に開催されましたが、まだコロナ禍のリスクが残る中、たいへん緊張して初回に臨んだことを覚えております。また、8月の月初めの例会では山ノ内ガバナー



をお迎えしての公式訪問例会、クラブフォーラムが実施され、タイトなスケジュールの中で通常例会時間内に組み込む形で実施させて頂きました。当時ガバナー事務所とは何度かやり取りを行い、ガバナー側から提案されているタイムスケジュールと、こちらから提案するスケジュールの折り合いがつかずに、苦慮しながらも時間をかけて説明をし、こちらの提案時間を呑んでいただいたことが思い起されます。これを機に、ここからの例会運営について少し勘を掴んだ気がしております。

毎回の例会に加えて、今年度は11月5日、6日に70周年の記念式典、祝賀会、記念コンペ、エクスカッションが開催されましたが、その計画は、まだ予定者の段階の約1年前から、実行委員会は開催され、内田五郎実行委員長、藤元一生副委員長の下、会長と一緒に出席しておりました。70周年の記念式典の中に第60回職業奉仕賞が組み込まれるということで、当然幹事は職業奉仕賞の進行のお役目がありましたので、当時は毎回の例会運営と職業奉仕賞のシナリオ作りや、受賞者との遣り取りに時間を割き、また、実行委員会からは「職業奉仕賞の授賞式に集中してください」とのお言葉を戴いておりましたので、日々そのことに集中することが出来ました。特に受賞者の富森久子さんとの遣り取りは日々体調の変化で、出席が危ぶまれたので、推薦者の菌田有美会員と一緒に、事前にビデオメッセージを撮らせて戴き、受賞者欠席の際に備えての準備をさせて頂きました。結果的にはご本人が当日ご出席頂き、そのビデオメッセージも流させて戴いたので、より一層、授賞式が引き立つものとなったと思っております。

70周年事業も無事終了し、多くの皆様からもう楽になっただろうとお声掛けいただきましたが、そんなことはありませんでした。2023年に入ってから次年度に向けて、クラブ細則の変更を初め、今年度中に準備を整えておかなければならないことなどもありました。色々判断が難しい場面が多々ございましたが、しかし、そこは毎回同じテーブルを囲む、小倉副会長、細川会計、岡本会長エレクトからアドバイスや気づきを戴き、解決へ向け

て進めることが出来ました。また、焦って周りが見えなくなっている私に、両副幹事の二人からは完璧なサポート、フォローをして頂きながら、2023年に入ってからは主にこのお二人が活動方針に沿って計画をたて、実行してくれました。このようにスタッフの皆様方からの強烈なサポートのもと、幹事のお役目をなんとか果たすことが出来たと思っております。本当にありがとうございました。

あと10日もすれば、池ノ上ガバナー年度が始まります。私もクラブのロータリー情報委員会副委員長のお役目と、地区副幹事としてのお役目もございまして、今年度の経験を少しでも活かしながら活動してまいりたいと思っております。

そして最後になりますが「いつも笑顔でありたい」とおっしゃって下さる川崎会長の幹事を務めることが出来たことが何よりも有難く、自分としても勉強になりました。プレッシャーがかかると委縮してしまう私を見越して、「かとちゃんの思うとおりにすすめて」とおっしゃってくださる川崎会長にお応えするべく気を張って1年間取り組めたと思っております。川崎会長お世話になりました。ありがとうございました。

それから、私としては親しみを込めてですが、同族巫種の立場から「ザビエルクラブ」などと、色々失礼なことを申し上げましたことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

最後になりますが、聞き手の感性に問かけるフランス映画のような会長の時間が毎回楽しみでした。また、どこかで先生のお話お聞きしたいと思っております。

とりとめのないお話にお付き合いいただき恐縮致しております。コロナ禍が続いた中、なんとか休むことなく1年間取り組むことが出来ました。皆様からの叱咤激励のお陰であります。皆様1年間本当ににお世話になりました。ありがとうございました。

Rotary



本年度(2022~2023)宮崎ロータリークラブの目標

- 1 70周年記念事業の開催と成功
- 2 池ノ上ガバナーエレクトの活動支援
- 3 会員数100名以上の堅持
- 4 例会出席率90%以上
- 5 ロータリー財団寄付一人当たり100ドル以上
- 6 米山奨学会寄付一人当たり10,000円以上

<会長> 川崎 建作
<副会長> 小倉 和彦
<幹事> 河東 太浩
<会報委員会> 赤石 裕一郎

■例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)
■例会場/宮崎観光ホテル(☎27-1212)



日本の
ひなた
宮崎県

■事務局 宮崎市宮田町13番8号(田崎ビル) TEL:24-4872 FAX:22-0288
URL:http://miyazaki-rc2730.jp E-mail:m-rotary@miyazaki-rc2730.jp